



横浜市歴史博物館 企画展

# 称名寺貝塚

## — 土器とイルカと縄文人 —

### 1. 展示会期など

会 期	平成 28 年 1 月 30 日 (土) ~ 3 月 21 日 (月)
開館時間	午前 9 時~午後 5 時 (入館は 4 時 30 分まで)
観 覧 料	一般 300 円、高校生・大学生 200 円、小学生・中学生 100 円 (常設展は別) 1 月 30 日、31 日は「博物館感謝デー」開催。全館入館無料
休 館 日	月曜日 (3 月 21 日を除く)
主 催	横浜市歴史博物館
共 催	横浜市教育委員会、(公財) 横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
後 援	横浜市金沢区/朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/産経新聞社横浜支局/ 東京新聞横浜支局/日本経済新聞社横浜支局/毎日新聞横浜支局/ 読売新聞東京本社横浜支局/NHK横浜放送局/TVK/FMヨコハマ

### 2. 展示趣旨

横浜市金沢区にある史跡・称名寺の周辺に、縄文時代の貝塚があるのをご存じですか？

称名寺貝塚は、今からおよそ四千年前の縄文時代後期を中心に残された貝塚です。貝塚から見つかった土器をもとにして縄文時代後期初めの土器型式である「称名寺式土器」が設定されました。この称名寺式土器は西日本からの影響を受けて作られたと考えられています。発掘調査ではイルカや魚の骨が大量に出土し、シカの角で作った銚や釣針などの漁具も見つかりました。この地で暮らした縄文人は海にこぎ出してイルカや魚をとり、遠く離れた土地と行き来していたのです。

今回の展示では、東北地方から近畿地方までの資料を広く集めて展示し、最新の研究成果をもとに称名寺貝塚で暮らした人々のすがたを描きだします。

### 3. 展示構成

- I 部 称名寺貝塚のすがた
- 1 章 称名寺貝塚の発掘
- 2 章 称名寺貝塚の内容
- II 部 称名寺式土器の時代
- 3 章 中期から後期へ
- 4 章 称名寺式土器と仲間たち



## 4. 見どころ

### ● 称名寺貝塚出土資料を一堂に

これまで知られていなかった貝塚の全体像を、過去の発掘調査の成果を総合して、わかりやすく紹介します。土器や石器のほか、貝塚から大量に出土したイルカや魚などの骨や、それらを獲るのに使ったと思われる骨角製の漁具なども展示します。



称名寺貝塚出土のイルカ頭骨

### ● 「称名寺式土器」約 100 点以上を展示

称名寺貝塚から出土した土器をもとに名付けられた土器型式が「称名寺式土器」です。関西方面からの影響を受けて成立し、北関東や東北にまで広がりました。北は青森から西は奈良までの遺跡から出土した称名寺式とそれに関連する土器を展示し、その広がりや変化を紹介します。

### ● 緑川東遺跡の石棒

東京都国立市緑川東遺跡では、2012年に完形の大型石棒4本が並んで出土して、全国的に注目されました。今回の展示では、縄文時代中期から後期にかけての社会の変化を扱うコーナーで、これらの石棒を借用・展示します。文化庁主催『発掘された日本列島 2013』にも出品された資料ですが、横浜市では初の展示となります。



称名寺貝塚出土土器

## 5. 関連企画

### 〈出張講演会「称名寺貝塚～四千年前の金沢の暮らし」〉

日時：2月11日（木・祝） 14:00～16:00

会場：金沢公会堂 定員：200名（事前申込・先着順）、参加費：無料 講師：石井寛ほか

### 〈研究講座〉

「称名寺貝塚と交流」2月27日（土）13:00～14:40 講師：石井寛、高橋健

「称名寺貝塚の生業」3月12日（土）13:00～14:40 講師：中村若枝、高橋健

会場：横浜市歴史博物館研修室 定員：50名（当日受付、先着順）、資料代：300円

### 〈シンポジウム「称名寺貝塚と称名寺式土器」〉

日時：3月5日（土）13:00～、6日（日）10:00～

会場：横浜市歴史博物館講堂 定員：150人（当日受付、先着順）、参加費：無料

### 〈遺跡散歩「称名寺貝塚周辺を歩く」〉

日時：3月16日（水）午前中 定員：30人（事前申込・3月9日必着）、参加費：500円

### 〈フロアレクチャー〉

日時：2月7日（日）、28日（日）、3月20日 各日とも11:00～、14:00～ 参加費：無料

### 〈金沢区民デー〉

2月28日（日）は金沢区にお住まいの方は企画展を無料でご覧頂けます。免許証など区民であることを証明できるものをお持ちください。

お問い合わせ先：横浜市歴史博物館 副館長 井上攻 TEL045-912-7777